

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月27日

上場会社名 メタウォーター株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9551 URL https://www.metawater.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務企画室長 (氏名) 中川 雅幸 (TEL) 03-6853-7317  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	58,497	3.5	△1,086	—	△1,235	—	△1,077	—
2020年3月期第3四半期	56,502	12.7	△3,473	—	△3,494	—	△2,563	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △1,830百万円( —%) 2020年3月期第3四半期 △2,498百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△24.81	—
2020年3月期第3四半期	△50.37	—

(注) 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	110,006	46,043	41.7
2020年3月期	119,469	49,592	41.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 45,893百万円 2020年3月期 49,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	31.00	—	40.00	71.00
2021年3月期	—	40.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	20.00	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、2021年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式分割を考慮しない場合の2021年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は40円となり、1株当たり年間配当金は80円となります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	1.0	10,500	27.7	10,500	29.1	6,800	19.8	156.51

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、2021年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	51,847,000株	2020年3月期	51,847,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	8,400,432株	2020年3月期	8,400,372株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	43,446,587株	2020年3月期3Q	50,899,751株

(注) 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予想内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予想に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況となりました。また、世界の経済状況においても、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、厳しい状況が続きました。感染拡大防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、持ち直しの動きも見られますが、感染症の再拡大が経済活動に与える影響が懸念されます。

このような状況のなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止策を実施した上で、2020年度（2021年3月期）を最終年度とする「中期経営計画2020」の達成に向けて、引き続き「①戦略開発投資」「②事業戦略（基盤分野の強化と成長分野の拡大）」「③持続的なESGの取り組み」を重点施策とし、全社を挙げて取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績については、次表のとおりとなりました。

当社グループの事業の特徴として、官公庁向けの国内公共事業が大半を占めていることから、売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、第3四半期連結累計期間の業績は低い水準となる傾向があります。

また、2020年10月29日付の「当社が退職給付信託に拠出している株式売却の結果に関するお知らせ」で、当第3四半期連結損益計算書において、未認識数理計算上の差異（貸方差異）の一括償却として、原価及び販売管理費の戻し入れを2,365百万円計上する旨を公表しております。当第3四半期連結会計期間においては、1,779百万円を原価及び販売管理費に戻し入れ、差額は仕掛品に計上しております。

	2020年3月期 (百万円)	2021年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	56,502	58,497	+1,995	+3.5
営業利益	△3,473	△1,086	+2,386	—
経常利益	△3,494	△1,235	+2,258	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△2,563	△1,077	+1,485	—
受注高	102,749	113,084	+10,335	+10.1
受注残高	188,598	193,226	+4,628	+2.5

当社グループの事業は、「プラントエンジニアリング事業セグメント」に基盤分野であるEPC(注1)事業及び成長分野と位置付ける海外事業が区分され、また、「サービスソリューション事業セグメント」に基盤分野であるO&M(注2)事業及び成長分野と位置付けるPPP(注3)事業が区分されております。セグメント別の業績は次のとおりです。

- (注) 1. EPC (Engineering, Procurement and Construction) : 設計・調達・建設  
 2. O&M (Operation and Maintenance) : 運転・維持管理  
 3. PPP (Public-Private Partnership) : 公共サービスの提供に民間が参画する手法

## (プラントエンジニアリング事業)

プラントエンジニアリング事業における業績は、次表のとおりとなりました。

EPC事業においては、売上高及び営業利益共に好調に推移し、前期を上回りました。海外事業においては、営業利益が前期を下回ったものの、売上高は前期と同水準となりました。

なお、退職給付信託に拠出していた株式の売却による未認識数理計算上の差異（貸方差異）の一括償却の一部として、1,010百万円を原価及び販売管理費に戻し入れております。

	2020年3月期 (百万円)	2021年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	35,821	39,828	+4,006	+11.2
営業利益	△1,784	198	+1,983	—
営業利益（注）	△1,784	△811	+973	—
受注高	53,219	63,508	+10,288	+19.3
受注残高	100,445	102,222	+1,777	+1.8

## (サービスソリューション事業)

サービスソリューション事業における業績は、次表のとおりとなりました。

O&M事業においては、売上高及び営業利益共に前期を下回りました。また、PPP事業においては、売上高は好調に推移し前期を上回りましたが、営業利益は前期と同水準となりました。

なお、退職給付信託に拠出していた株式の売却による未認識数理計算上の差異（貸方差異）の一括償却の一部として、769百万円を原価及び販売管理費に戻し入れております。

	2020年3月期 (百万円)	2021年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	20,680	18,669	△2,011	△9.7
営業利益	△1,688	△1,285	+402	—
営業利益（注）	△1,688	△2,054	△366	—
受注高	49,529	49,576	+47	+0.1
受注残高	88,152	91,004	+2,851	+3.2

(注) 退職給付信託に拠出していた株式の売却による未認識数理計算上の差異（貸方差異）の一括償却の影響を除いた営業利益

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ94億62百万円減少し、1,100億6百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金並びに仕掛品が増加しましたが、売掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ136億83百万円減少し、882億57百万円となりました。

固定資産は、のれんが増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ42億21百万円増加し、217億48百万円となりました。

流動負債は、前受金が増加しましたが、買掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ44億73百万円減少し、498億60百万円となりました。

固定負債は、PFI等プロジェクトファイナンス・ローンが減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ14億40百万円減少し、141億2百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払などにより、前連結会計年度末に比べ35億49百万円減少し、460億43百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績につきましては、2020年10月28日発表の予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,645	16,331
受取手形及び売掛金	78,109	40,416
仕掛品	3,357	20,450
貯蔵品	4,711	6,408
その他	2,118	4,650
流動資産合計	101,941	88,257
固定資産		
有形固定資産	3,184	3,730
無形固定資産		
のれん	1,671	3,989
顧客関連資産	2,506	2,289
その他	1,830	2,144
無形固定資産合計	6,008	8,422
投資その他の資産	8,333	9,595
固定資産合計	17,527	21,748
資産合計	119,469	110,006

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,801	10,585
電子記録債務	11,603	9,291
短期借入金	276	543
1年内返済予定のPFI等プロジェクトファイナ ンス・ローン	855	861
未払法人税等	2,206	24
前受金	9,011	20,305
完成工事補償引当金	1,340	1,235
受注工事損失引当金	579	745
その他	8,658	6,267
流動負債合計	54,333	49,860
固定負債		
長期借入金	1,539	1,328
PFI等プロジェクトファイナンス・ローン	9,849	9,027
退職給付に係る負債	4,025	3,413
その他	128	332
固定負債合計	15,542	14,102
負債合計	69,876	63,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,946	11,946
資本剰余金	15,080	15,080
利益剰余金	37,900	35,105
自己株式	△14,289	△14,289
株主資本合計	50,638	47,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54	70
為替換算調整勘定	△366	△487
退職給付に係る調整累計額	△882	△1,532
その他の包括利益累計額合計	△1,194	△1,950
非支配株主持分	148	149
純資産合計	49,592	46,043
負債純資産合計	119,469	110,006

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	56,502	58,497
売上原価	46,409	47,417
売上総利益	10,093	11,080
販売費及び一般管理費	13,566	12,166
営業損失(△)	△3,473	△1,086
営業外収益		
受取利息	132	117
受取配当金	45	39
段階取得に係る差益	—	82
その他	21	31
営業外収益合計	198	270
営業外費用		
支払利息	148	115
固定資産処分損	6	44
為替差損	56	244
その他	9	15
営業外費用合計	220	420
経常損失(△)	△3,494	△1,235
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,494	△1,235
法人税等	△977	△160
四半期純損失(△)	△2,516	△1,075
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,563	△1,077

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△2,516	△1,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	16
為替換算調整勘定	△283	△121
退職給付に係る調整額	286	△650
その他の包括利益合計	18	△755
四半期包括利益	△2,498	△1,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,545	△1,832
非支配株主に係る四半期包括利益	46	2

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,821	20,680	56,502	—	56,502
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	35,821	20,680	56,502	—	56,502
セグメント損失(△)	△1,784	△1,688	△3,473	—	△3,473

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,828	18,669	58,497	—	58,497
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	39,828	18,669	58,497	—	58,497
セグメント利益又は損失 (△)	198	△1,285	△1,086	—	△1,086

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。